

病理学 担当講座（分野）：病理学講座（病態解析学分野）

第3学年 前期

前期 講義 25.5時間 実習 30時間

一般目標（講義）

病理学総論で学んだ基本的概念をもとに口腔領域における疾病の原因、病態およびこれらと関連ある全身性疾患などを、講義、標本観察、組織実習などによって教授し、臨床歯科医学の基本的概念を総合的に修得させる。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月3日(水) 1限	武田泰典教授	歯の発育異常 歯の発育異常を、歯科臨床との関連から理解する。	1. 歯の大きさと形の異常を説明できる。 2. 歯の数の異常を説明できる。 3. 歯の萌出の異常を説明できる。 4. 歯の位置および咬合の異常を説明できる。 5. 歯の形成不全を説明できる。
4月3日(水) 2限	三上俊成講師	齲 蝕 齲蝕の病因と病態を理解する。	1. 齲蝕の病因を説明できる。 2. 齲蝕の分類を説明できる。 3. エナメル質齲蝕について説明できる。 4. 象牙質齲蝕について説明できる。 5. セメント質齲蝕について説明できる。
4月10日(水) 1限	佐藤泰生講師	歯髄の病変 加齢変化、退行性病変、 炎症 歯髄の病変の概念とその病態を理解する。	1. 歯髄における加齢変化を説明できる。 2. 歯髄の退行性病変を説明できる。 3. 歯髄炎の原因をあげ、説明できる。 4. 歯髄炎を病理学的に分類し、その経過を説明できる。
4月10日(水) 2限	三上俊成講師	歯周組織の病変 根尖部および辺縁部歯周組織の病変を理解する。	1. 根尖部および辺縁部歯周組織の病変の発生機序について説明できる。 2. 歯周組織の病変を分類し、その経過について説明できる。 3. 歯周組織の病変と全身疾患との関わりを説明できる。 4. エプーリスを説明できる。
4月17日(水) 2限	武田泰典教授	口腔粘膜の病変 口腔粘膜に生じる種々の病変を理解する。	1. 口腔粘膜の炎症性病変を説明できる。 2. 口腔乾燥症を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月24日(水) 2限	三上俊成講師	嚢 胞 (1) 口腔領域に生じる嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 嚢胞の定義と成り立ちを説明できる。 2. 嚢胞の分類を説明できる。 3. 歯原性嚢胞について説明できる。 4. 非歯原性嚢胞について説明できる。
5月8日(水) 2限	三上俊成講師	嚢 胞 (2) 口腔領域に生じる嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 嚢胞の定義と成り立ちを説明できる。 2. 嚢胞の分類を説明できる。 3. 歯原性嚢胞について説明できる。 4. 非歯原性嚢胞について説明できる。
5月15日(水) 1限	武田泰典教授	歯原性腫瘍 腫瘍総論における歯原性腫瘍の位置付けを理解する。	1. 歯原性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 2. 歯の発生と歯原性腫瘍との関連を説明できる。 3. 歯原性腫瘍の病理学的特徴を説明できる。 4. 歯原性腫瘍の分類を説明できる。
5月22日(水) 2限	佐藤孝准教授 (医・病理学講座)	寄生虫病学 現代社会における寄生虫病学の必要性を理解する。	1. 宿主と寄生虫の相互関係を説明できる。 2. 寄生虫の感染経路を説明できる。 3. 寄生虫の種類とその寄生部位について説明できる。 4. 寄生虫感染症の診断法を説明できる。 5. 寄生虫疾患を分類しそれらについて説明できる。
5月29日(水) 2限	三上俊成講師	口腔領域の良性腫瘍と腫瘍類似病変 口腔領域に生じる良性腫瘍と腫瘍類似病変を理解する。	1. 口腔領域の良性腫瘍について説明できる。 2. 口腔領域の腫瘍類似病変について説明できる。
6月5日(水) 2限	三上俊成講師	口腔領域の悪性腫瘍 口腔領域に生じる悪性腫瘍の特徴を理解する。	1. 口腔領域の癌腫について説明できる。 2. 口腔領域の肉腫について説明できる。 3. 前癌病変・前癌状態の種類とそれらの病理学的特徴について説明できる。
6月12日(水) 2限	武田泰典教授	唾液腺の非腫瘍性病変 唾液腺に生じる種々の非腫瘍性病変を理解する。	1. 唾液腺の代謝障害や化生を説明できる。 2. 唾液腺の結石や嚢胞を説明できる。 3. 唾液腺の炎症を説明できる。 4. 免疫異常に伴う唾液腺病変を説明できる。
6月19日(水) 3限	武田泰典教授	顎骨の病変 顎骨に生じる種々の病変、歯性病巣感染を理解する。	1. 骨折と抜歯創の治癒を説明できる。 2. 顎骨の病変を説明できる。 3. 顎関節の病変を説明できる。 4. 歯性病巣感染の概念と疾患を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月26日(水) 1限	佐藤泰生講師	老化総論と口腔領域の老化 老化のメカニズムと加齢に伴う口腔諸組織の変化について理解する。	1. 老化現象と老化学説を説明できる。 2. 歯の加齢に伴う変化を説明できる。 3. 加齢に伴う歯周組織と顎骨の変化を説明できる。 4. 顔面および口腔軟組織の加齢に伴う変化について説明できる。
6月26日(水) 2限	武田泰典教授	唾液腺の腫瘍 唾液腺腫瘍の病態と病理を理解する。	1. 唾液腺の基本構築を説明できる。 2. 唾液腺の良性腫瘍について説明できる。 3. 唾液腺の悪性腫瘍について説明できる。
7月3日(水) 1限	武田泰典教授	歯牙硬組織病変 歯牙硬組織の物理的、化学的損傷を中心に理解する。	1. 咬耗を説明できる。 2. 摩耗を説明できる。 3. 歯牙酸蝕症を説明できる。 4. その他の歯牙硬組織病変を説明できる。
7月3日(水) 4限	武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	まとめ 口腔病理学の重要事項を整理し理解する。	1. 口腔病理学で学んだポイントを説明できる。

一般目標 (実習)

講義によって学んだ疾病の病理学的概念や臨床的に理解しておかなければならない生体内の重要な形態学的変化について、それらの組織所見を観察する事によって一層深く理解させる。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月17日(水) 3、4限	○武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	粘膜病変と感染症 扁平苔癬、白板症、結核症、放線菌症の病理学的特徴を理解する。	1. 扁平苔癬の病理所見を説明できる。 2. 白板症の病理所見を説明できる。 3. 結核結節の病理所見を説明できる。 4. 放線菌症の病理所見を説明できる。
4月24日(水) 3、4限	武田泰典教授 佐藤泰生講師 ○三上俊成講師	エプーリス エプーリスの病態を組織学的に理解する。 歯原性嚢胞 歯原性嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 各種エプーリスの相互関係を説明できる。 2. 肉芽腫性エプーリスの病理所見を説明できる。 3. 血管腫性エプーリスの病理所見を説明できる。 4. 歯根肉芽腫の病理所見を説明できる。 5. 歯根嚢胞の病理所見を説明できる。 6. 含歯性嚢胞の病理所見を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月8日(水) 3、4限	武田泰典教授 佐藤泰生講師 ○三上俊成講師	非歯原性嚢胞 非歯原性嚢胞の病態と病理所見を理解する。	1. 類皮嚢胞の病理所見を説明できる。 2. 鰓嚢胞の病理所見を説明できる。 3. 切歯管嚢胞の病理所見を説明できる。
5月15日(水) 3、4限	○武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	歯原性腫瘍(1) 歯原性腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. エナメル上皮腫の病理所見を説明できる。 2. 腺腫様歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。 3. 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。
5月22日(水) 3、4限	○武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	歯原性腫瘍(2) 歯原性腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. 角化嚢胞性歯原性腫瘍の病理所見を説明できる。 2. 歯牙腫(集合型, 複雑型)の病理所見を説明できる。 3. 歯原性粘液腫の病理所見を説明できる。
5月29日(水) 3、4限	武田泰典教授 佐藤泰生講師 ○三上俊成講師	非歯原性腫瘍(良性) 代表的な非歯原性良性腫瘍をあげ、それらの病態と病理所見を理解する。	1. 乳頭腫の病理所見を説明できる。 2. 血管腫の病理所見を説明できる。 3. 神経鞘腫の病理所見を説明できる。 4. 線維性異形成症の病理所見を説明できる。
6月5日(水) 3、4限	武田泰典教授 佐藤泰生講師 ○三上俊成講師	非歯原性腫瘍(悪性) 代表的な非歯原性悪性腫瘍をあげ、それらの病態と病理所見を理解する。	1. 扁平上皮癌の病理所見を説明できる。 2. 悪性黒色腫の病理所見を説明できる。 3. 骨肉腫の病理所見を説明できる。 4. 腫瘍組織の分化の程度を説明できる。 5. 癌腫と肉腫の違いを説明できる。 6. 細胞の異型性と組織構築の異型性について説明できる。
6月12日(水) 3、4限	○武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	唾液腺の非腫瘍性病変 非腫瘍性唾液腺病変の病態と病理所見を理解する。	1. 粘液嚢胞の病理所見を説明できる。 2. 慢性硬化性唾液腺炎の病理所見を説明できる。 3. 自己免疫性唾液腺炎の病理所見を説明できる。
6月26日(月) 3、4限	○武田泰典教授 佐藤泰生講師 三上俊成講師	唾液腺の腫瘍 唾液腺腫瘍の病態と病理所見を理解する。	1. 多形腺腫の病理所見を説明できる。 2. Warthin 腫瘍の病理所見を説明できる。 3. 腺様嚢胞癌の病理所見を説明できる。
7月3日(水) 2、3限	武田泰典教授 ○佐藤泰生講師 三上俊成講師	歯髄炎 歯髄炎の病態と病理所見を理解する。	1. 急性漿液性歯髄炎の病理所見を説明できる。 2. 急性化膿性歯髄炎の病理所見を説明できる。 3. 慢性潰瘍性歯髄炎の病理所見を説明できる。 4. 慢性増殖性歯髄炎の病理所見を説明できる。

注：組織実習を始める前に担当者がその日の標本(病変)について解説するので、実習開始5分前に講義室に集合のこと。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード病理学改訂新版	下野正基ほか編	学建書院	2005年
教	新口腔病理学	下野正基、高田隆編	医歯薬出版	2008年

成績評価方法

定期試験（実習試験を含む）によって評価する。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
武田 泰典	B-i	月～金		
佐藤 泰生	〃	〃		
三上 俊成	〃	〃		

授業に使用する機械・器具と使用目的

[病理学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
最高級写真顕微鏡一式	AX-80-65	1	基礎実習・研究用機器	実習の視覚素材の作成
ノートパソコン一式	PC-MT1-H3	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示
顕微鏡デジタルカメラ一式	DP70-SET-A	1	基礎実習・研究用機器	実習の視覚素材の作成
液晶プロジェクター	8125A001	1	基礎実習・研究用機器	実習内容の解説
パソコン一式	PC-MY11FFEEF	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の作成
吊り下げスクリーン	AM-080V-042	1	基礎実習・研究用機器	病理画像の提示による個別あるいは小グループ教育
ディスカッション顕微鏡(対向型)	BX51N-33-D0	1	基礎実習・研修用機器	病理画像の提示による個別あるいは小グループ教育
デスクトップパソコン一式	Mate MY24R/FE-5	1	基礎実習・研究用機器	講義用視覚素材やレジメの作成
カラー複合機 Color image RUNNER	iR C3080	1	基礎実習・研究用機器	講義用視覚素材やレジメの作成
デスクトップパソコン一式	Dc5800SF/CT	1	基礎実習専用機器	実習の視覚素材の作成